

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 鹿児島県鹿屋市
 本事業の担当部局名 農林商工部商工振興課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.6 その他、ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
個別事業名	地元ライフデザイン事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)	2,368,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,368,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	2,368,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	168,000	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	168,000	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計	
	総事業費	2,200,000	0	0	0	2,368,000	
	対象経費支出予定額	2,200,000	0	0	0	2,368,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 若者の市外流出や出産数の減少などにより人口減少が年々進む中、若い世代に対して本市での仕事や結婚、子育てのライフデザイン形成ができるよう、就業支援、出会いの場の創出、婚活支援、子育てしやすい環境づくりに取組み、結婚や子どもを持つことに希望が持てる社会を創る。 また、結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムを実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 若者への人生設計のサポートとして、高校生や若者を対象とした地元での就職やライフデザインを考える機会の提供を行う。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	地元就職促進パンフレットの配布	市内の高校生を対象に、東京都と鹿屋市における仕事や結婚、子育てに関して比較している情報を掲載するパンフレットを配布することで、地元での就職や結婚、子育てなどの自身のライフスタイルや将来を考えるきっかけとする。 ※対象:市内の高校に通う高校生				
	2	地元企業をPRする動画を制作	地元企業の魅力を高校生自ら取材、撮影、編集し、PR動画として発信する。 高校生が地元企業を取材し、そこで働く人の生活や子育ての様子、女性の活躍、働きやすさなどを認識することで、地元でのライフデザインを具体的に描いてもらうきっかけとする。また、そのPR動画を発信することで、同世代の若者や他の高校生にもライフデザインの選択肢を提案する。 ※対象:市内の高校に通う高校生				
	3						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 1.パンフレットを見て、より具体的に地元での生活が描けるような、データや情報を掲載する。 2.地元企業で働く人の生活や子育てとの両立など、より地元企業でのライフデザインが描けるようなPR動画を提案する。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	「結婚・妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている」と思う人の割合		%	70 (R11年度)	28.5 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.81 (R5年)	
	婚姻件数		件	384 (R5年)	
	婚姻率			3.85 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	参加者	人	20人 (R8年度)	22人 (R7年度)
	②	PR動画の視聴回数	回	1,200 (R8年度)	400 (R7年度)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					